

## 5 成長産業分野における研究開発拠点の形成

### ～川崎臨海部におけるライフサイエンス・環境分野国際競争拠点の形成～

川崎臨海部の産業集積を活かし、羽田空港 2 4 時間国際拠点空港化の時機を捉え、殿町 3 丁目地区を中心に我が国経済を牽引するライフサイエンス・環境分野の国際競争拠点の形成を目指します。

#### 殿町 3 丁目地区を中心とした国際競争拠点の形成

ライフサイエンス・環境分野における国際競争拠点の形成に向け、官民共同による戦略の立案と推進に取り組むとともに、拠点形成を先導する中核施設の整備を推進します。

##### 【主な事業】

- ・国際競争拠点の形成（戦略立案と推進） 7,000 千円
- ・中核施設間の連携方策検討の立地誘導の推進 2,000 千円
- ・羽田連絡道路の整備促進 6,000 千円

##### 【関連事業】

- ・臨海部 P R 誘致推進事業 10,000 千円(再掲)
- ・殿町地区土地利用誘導事業 20,000 千円(再掲)
- ・サポートエリア整備推進事業 32,230 千円(再掲)
- ・環境総合研究所整備事業 31,533 千円
- ・仮称健康安全研究センター整備事業 4,000 千円

#### 殿町 3 丁目地区中核施設整備

ライフサイエンス・環境分野の拠点形成を先導する施設として、先行して整備を推進しています。

##### 第 1 段階整備：再生医療・新薬開発共同研究センター

- ・慶應大学医学部との連携により、iPS 細胞を活用した再生医療の研究開発を推進します。
- ・脊髄損傷や脳梗塞など、再生医療による中枢神経系の治療の実現を目指します。



完成イメージ

(平成 23 年度運用開始予定)

##### 第 2 段階整備：仮称産学公民連携研究センター

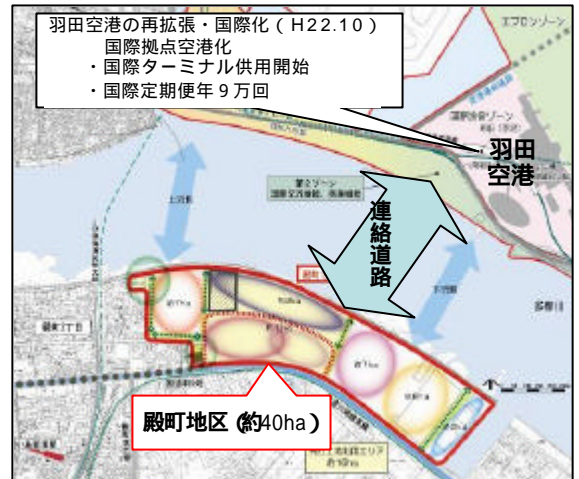
- ・民間活力を活用した整備手法により、民間事業者が整備・運営します。
  - ・環境総合研究所、仮称健康安全研究センターの市施設が入居し、研究開発拠点の形成を先導する取組を推進します。
- (平成 24 年度運用開始予定)



完成イメージ

「合計：50,533 千円」

#### < 殿町地区と羽田空港位置図 >



### 国際的な拠点の形成に向けた機能の集積

川崎臨海部の戦略的なマネジメントの指針「土地利用誘導ガイドライン」に基づき、地域特性を活かした土地利用の誘導や都市基盤の整備に着実に取り組み、国際的な拠点の形成に向けた機能の集積を進めます。

#### 戦略的な土地利用の誘導と都市基盤の整備

拠点の形成に向け、地域の特性を踏まえた戦略的な土地利用の誘導を図り、基盤整備を実施します。

「合計：8,685,780 千円」

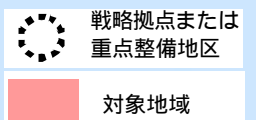
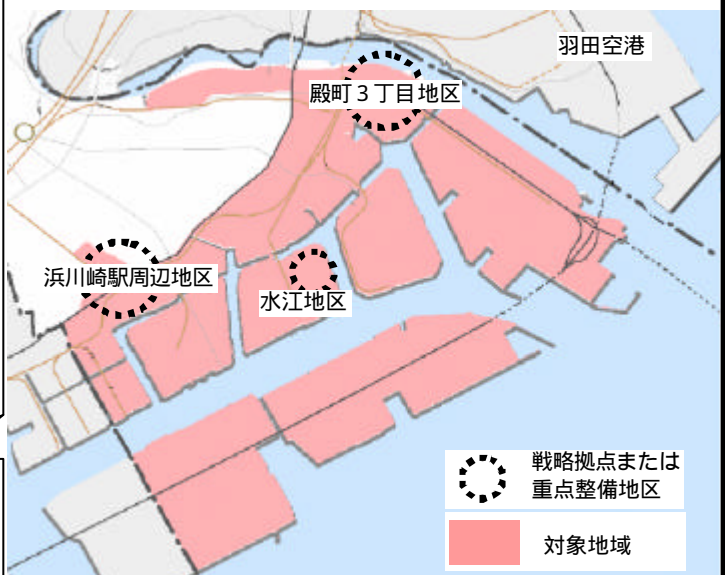
- ・臨海部動向把握・情報管理業務 2,248 千円
- ・殿町地区土地利用誘導事業 20,000 千円
- ・サポートエリア整備推進事業 32,230 千円
- ・浮島地区土地利用の推進 6,313 千円
- ・南渡田周辺地区整備事業 1,000 千円
- ・川崎縦貫道路の整備 343,500 千円
- ・京浜急行大師線連続立体交差事業 6,108,949 千円
- ・臨港道路東扇島水江町線の整備 2,171,540 千円

#### 地域ブランドの確立に向けた取組

川崎臨海部のブランド化に向けた情報発信等に取り組みます。

「合計：11,000 千円」

- ・臨海部 P R 誘致推進事業 10,000 千円
- ・川崎臨海部産学公民連携推進事業 1,000 千円



# ～ 新川崎・創造のもり地区における新産業創出拠点の形成 ～

「新川崎・創造のもり」は、先端科学技術や新産業を創造する研究開発拠点として、これまで、K<sup>2</sup>(ケイスクエア)タウンキャンパスやかわさき新産業創造センター(KBIC)での先進的な研究開発等を推進しております。

加えて、市内ものづくり企業の基盤技術の高度化等を支援するナノ・マイクロテクノロジーを核とした産学官共同研究施設を新たに整備し、周辺施設との連携・相乗効果を発揮することにより、さらなる新産業創出拠点の形成を図ります。

## かわさき新産業創造センター (KBIC) の管理・運営

9,590千円

創業者や新分野事業進出を目指す中小企業に対して事業スペースを提供し、販路開拓・資金調達などの支援を行うとともに、市内企業のものづくり機能の高度化を促進する。



新川崎駅周辺

## 新川崎・創造のもりにおける産学連携の推進

83,026千円

K<sup>2</sup>(ケイスクエア)タウンキャンパスにおいて慶應義塾大学が行う先進的な研究開発活動等に対して支援を行うとともに、市内中小企業や市民の方に研究成果を還元するセミナーなどを開催する。



電気自動車「エリーカ」  
(慶應義塾大学 電気自動車研究室提供)

## 新川崎A地区への企業誘致等

1,344千円

平成20年度より募集を開始した新川崎A地区に研究開発型の高度な技術力を有する中堅・中小製造業や研究開発機関の進出を促進する。

## 産学官共同研究施設の整備 4,615,690千円

市内産業の振興及び新たな産業の創出を目指して、環境、ライフサイエンスなど多くの産業分野で活用が期待されているナノ・マイクロテクノロジーを核とした産学官共同研究施設を整備する。

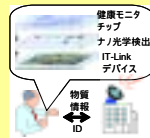


完成イメージ

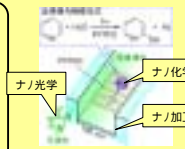
### ナノ・マイクロ産学官共同研究施設

#### 4大学コンソーシアム

- ・慶應義塾大学
- ・早稲田大学
- ・東京工業大学
- ・東京大学



- 【主な研究領域】
- ナノフォトニクス
  - NEMS/MEMS
  - マイクロ・ナノ化学
  - ナノ計測 等



#### クリーンルーム内 先端研究開発機器



共同研究・技術供与・機器利用等の連携により新製品開発・高度化を促進

市内ものづくり中小企業など

- 金属・機械加工業
- 電子・情報機器製造業
- 情報通信、環境、ライフサイエンス分野製造業等

市内産業を振興し、我が国の経済成長の原動力となる新たな産業を創出